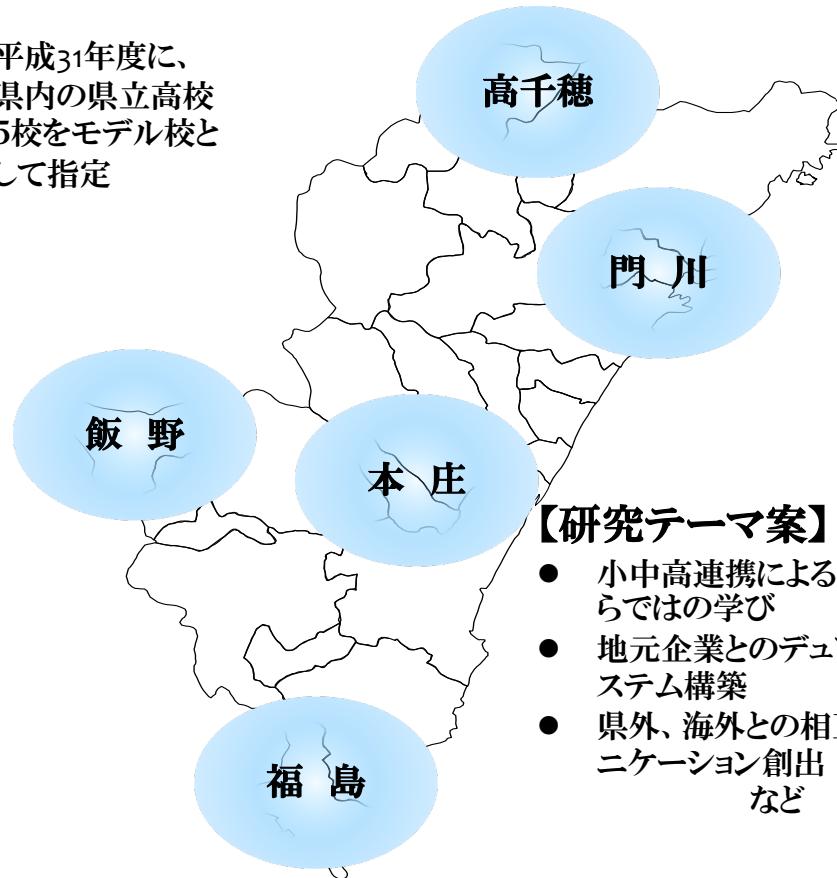


地域とともに 「魅力ある高校づくり」=

平成31年度に、
県内の県立高校
5校をモデル校と
して指定



【研究テーマ案】

- 小中高連携による郷土ならではの学び
- 地元企業とのデュアルシステム構築
- 県外、海外との相互コミュニケーション創出など

平成32年度以降は、モデル校の成果を生かして、他のエリアの希望する学校をコミュニティ・スクールに指定(1市町に2校配置の地域を優先)
「県立高校と県内企業のネットワーク構築」等とともに地方創生推進交付金を申請

みやざき型 コミュニティ・スクール

学校運営協議会



保護者・地域住民・地元自治体・企業 等

説明
承認
参画

校長

- ・学校運営の基本方針
- ・教育活動への支援 等



《これまでの成果》

- ・キャリア教育の充実
- ・高校生による地域課題解決への参画
- ・グローバル化に対応する人材の育成

地元自治体や企業などと緊密に連携した体制を構築し、地域振興につながる実践的な教育活動を展開

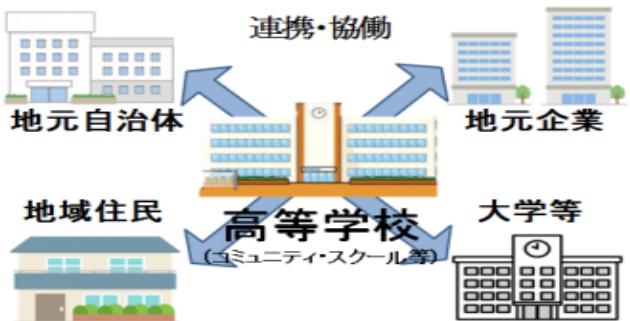
- 地域づくりの中核としての高等学校教育の推進
- 地域の力を活用した教育活動の展開・充実
- 地域の安全・安心の連携・協力体制の構築
- 高校生による地域課題解決アイデアの企画・実践
- シビックプライド(地域への誇り)の醸成 など

県立高校を核としたまち・ひと・しごと創生推進事業

県立学校が地域と緊密に連携した体制を構築し、地域振興に結びつく実践的な教育活動を地域と協働で展開

地方創生の基盤として

県立学校を核に、地域力強化、地方創生推進のための仕組みづくりを推進



【目指す姿】

地域全体で地域の将来を担う人財を育成するとともに、地域全体で「若年層定着」「産業活性化」等の好循環を創出

地域の特色を生かして

- 地域の魅力的素材を生かした開発プロジェクト活動
- 地域人材を活用した文化・スポーツ・観光、部活動等のコラボ
- 地元企業でのインターンシップ、デュアルシステム構築
- 県外、海外とのコミュニケーション学習システム 等

Community School 5校をモデル指定

→県全体での取組へ発展

Community Schoolを中心とした…(研究モデル校 5校)

地域課題解決学習モデルの研究

(7,716千円)

Community Schoolを核とした地方創生活動の研究補助



- 地域の力を活用した教育活動の展開
- 地域の安全・安心の協力体制の構築
- 高校生による地域課題解決アイデアの企画・実践 等

(別紙参照)

サポートスタッフ配置

(8,582千円)

Community Schoolの魅力化を支援するとともに、地元自治体等と学校をつなぐサポートスタッフを配置



地域のニーズの把握等

- 地域の文化拠点としての学校施設を活用した生涯学習講座等の展開(学校図書館、空き教室を活用したコワーキングスペースの提供等)
- 連携型防犯・防災体制等の構築

「ICT街づくりLABO」

(5,310千円)

ICTを活用した街づくりの拠点として、県立高校を位置付け。遠隔学習環境の整備により、地方にいても都心と同じような空間を創出し、遠隔地間の連携・協働や地域課題解決の共有化を図る。

将来のICTのビジネス利活用、地域活性化強化をねらう。



県全体へ波及させるための取組…

○ひむかハイスクールExpo

(3,171千円)

県内の各高等学校で実施される「地域課題解決学習」の成果を一堂に集めたプレゼンコンテストを開催。地域の魅力的素材を活かした優秀なプロジェクトを共有する。

○ひむか人財育成セミナー

(3,036千円)

若年層定着に向けた、地域魅力発見セミナーを宮崎大学と協働で開催。

○ひなた留学フェア

(4,677千円)

首都圏等(本県と連携協定を締結する川崎市、神戸市)において、本県の教育(全国募集の高校、里親留学等)や体験活動(サーフィン、森林セラピー等)の魅力などを発信するフェアを開催。

本県在住の著名人等により、田舎暮らしの良さや魅力を伝えるトークショーやUIJターン経験者による体験談等も実施。

地域とともに、地域の未来を創造し、貢献する人材を育むする スーパー・コミュニティー・ハイスクール

宮崎県立飯野高等学校

「グローカル・ヒーロー」とは、

地域を愛し、地域を理解し、地域の発展のために、あらゆる分野で、新たな発想や工夫、知恵を提示し、協働した実践をとおして社会の創造に貢献する人

えびの市役所

地元企業

商工会等

青年会議所等

地域に学びながら

- ① 商工会、青年会議所等と連携した協働学習、地域づくり学習、講演、主権者教育、消費者教育等の実施
- ② えびの市、えびの市教育委員会と連携した地域学習(えびのが学)、講演会等の実施
- ③ 自治会、町づくり協議会、婦人会等と連携した協働ボランティア、学校外学習の実施

地域とともに学びながら

- ① 地域の事業所、行政、教育施設等での地域貢献活動の実施
- ② 地域課題解決のための地域探究活動(県内外)の実施
- ③ 家庭科系学科の幅広い専門性を生かした地域支援活動の実施
- ④ 地域や行政と連携した防犯・防災のための組織的な活動の実施

えびの市教育委員会

幼稚園、小・中学校

自治会・婦人会等

町づくり協議会等

地域に開きながら

- ① 学校施設を活用した児童生徒を招聘しての協働学習や発表会等の実施
- ② 自治会、婦人会、敬老会等の活動の場の提供や生徒と協働した活動づくり
- ③ 生徒指導、進路指導、教育相談、特別支援教育等における地域の人材を活用した協働指導(面接指導、ソーシャルワーク、清掃活動・環境整備等)の実施
- ④ 学校図書館を等を開放した学びの場、活動の場の提供や協働学習の実施

学校運営協議会

運営協議会委員
学校運営、教育活動の支援

学校の現状、課題等の共有
学校運営、教育活動の協働

飯野高校魅力化プロジェクト！の推進

教育課程の工夫、学力向上、進路実現、キャリア教育の充実、探究活動の実践、授業改善、広報活動の充実 等

令和元年度 学校運営協議会委員一覧

	氏名	所属	備考
1	御手洗 英次	無所属	前本校事務長
2	宮久保 正治	えびの市基地・防災対策課	
3	田村 誠一	ハヤカワ・コーポレーション	本校PTA会長
4	唐仁原 幸吉	飯野小学校校長	
5	日高亘	飯野中学校校長	
6	松窪ミツエ	北きりしま田舎物語推進協議会	
7	吉牟田加代子	飯野高校同窓会	
8	豊田寧仁	豊田商事専務取締役	えびの市観光協会
9	山元豪	京町温泉「いこい荘」職員	京町温泉組合
10	押方修	飯野高校校長	

● 学校関係者

教頭 新原 正夫 事務長 小玉 雅一 主幹教諭(CS担当) 中村 聖浩 サポートスタッフ 宮田 慶子